






● 雨の降り方と強さ

降っている雨を観察することで、大体の雨量を知ることができます。危険な状態になる前に自分で判断して避難ができるよう、雨の降り方とその状況を知っておきましょう。

1時間雨量 (mm)	やや強い雨 10以上～20未満	強い雨 20以上～30未満	激しい雨 30以上～50未満	非常に激しい雨 50以上～80未満	猛烈な雨 80以上
状況	<ul style="list-style-type: none"> ●ザーザーと降る。 ●地面からの跳ね返りで足元がぬれる。 ●雨の音で話し声がよく聞き取れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ●どしゃ降り。 ●傘をさしていてもぬれる。 ●ワイパーを速くしても見づらい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●バケツをひっくり返したように降る。 ●道路が川のようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)。 ●傘は全く役に立たなくなる。 ●車の運転は危険。 	<ul style="list-style-type: none"> ●息苦しくなるような圧迫感がある。 ●恐怖を感じる。 

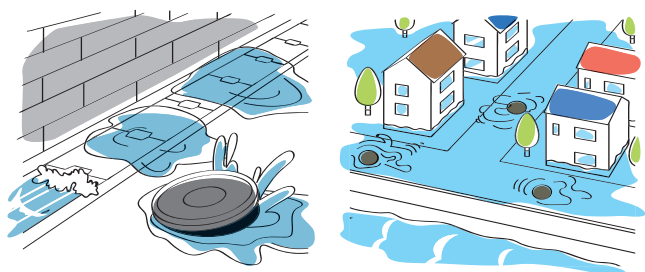
出典：気象庁

● 内水はん濫と外水はん濫

洪水災害には、身近な水路などから水があふれる内水はん濫と、河川のはん濫による外水はん濫があります。それぞれの洪水災害について、どの程度の被害が想定されているかを知っておきましょう。

水路や下水道などがあふれて起こる

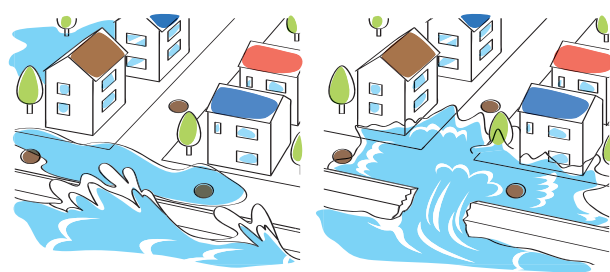
内水はん濫



大雨により、河川の水位が上昇することで、水路や下水道からの排水ができなくなり、水があふれ出す現象を「内水はん濫」といいます。

河川がはん濫する

外水はん濫



大雨によって河川を流れる水が大幅に増え、堤防が決壊したり、堤防から水があふれたりすることにより水が流れ出す現象を「外水はん濫」といいます。

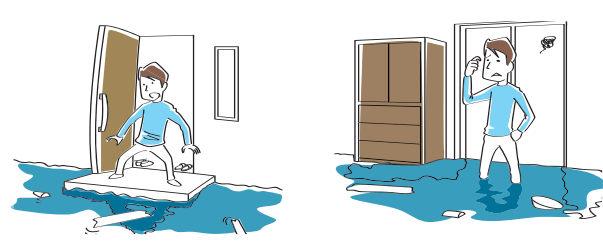
● 洪水災害の被災イメージ

道路の冠水



エンジンの停止や、ドアが開かなくなり車内から出られなくなることがあります。

床下浸水・床上浸水



流れ込んでくる水は泥水であり、水が引いた後も土砂や汚泥が堆積するため、移動が難しくなったり建物に被害を及ぼしたりします。

家屋の倒壊



河川沿いでは、洪水により家屋が倒壊することもあります。

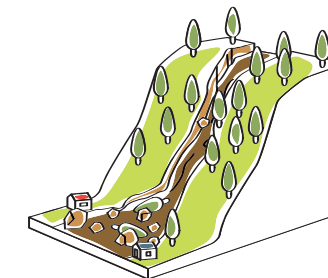
● 土砂災害の種類

がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)



地面にしみ込んだ雨水により、斜面が突然崩れ落ちる現象です。

土石流



谷底や山腹から崩れ出した土砂が水と一緒に勢いよく流れ下る現象です。

地すべり

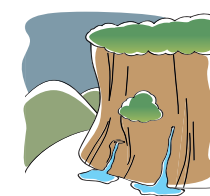


地中のすべりやすい部分から地面がすべり落ちる現象です。

● 土砂災害の前兆現象

土砂災害の発生のおそれを知らせる「土砂災害警戒情報」が発表されていなくても、前兆現象に気づいたら周辺の人にも知らせ、すぐに安全な場所に避難し、役場や警察、消防などに通報しましょう。

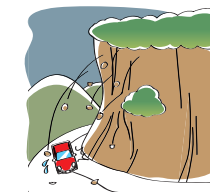
がけ崩れの前兆



水が湧き出る



がけに割れ目が見える



がけから小石が落ちてくる

土石流の前兆



山鳴り



川がにごる



雨が降り続けているのに水位が下がる

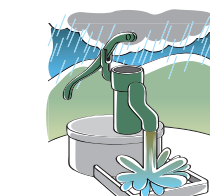
地すべり前兆



地面にひび割れ



斜面から水が湧き出す



井戸の水がにごる

● 土砂災害の被災イメージ

人命、財産の被害



土砂災害がおきると、一瞬にして尊い命や家屋などの財産を奪ってしまいます。

道路の寸断



道路がふさがって移動ができなくなり、救助や支援が難しくなります。

集落の孤立化



山間部や避難する道に限られる地域では、道路の寸断により集落が孤立化すると、救助や支援が難しくなります。